第 4 5 号

昭和48年1月15日 発 行二小 国 町 役 場 印 刷=小千谷市位下印刷



小国町の人口 (前月比)

補

正

予

算

な

ど

承

認

十二月

定例

・一般会計(第四号)

5,189人(-4) 女計 5,438人(-2) 10,627人(-6) 世帯数2,415 (±0) 昭和47年12月31日現在

納税 月の

第 4 期 第 10 期 1 月 分 保 税料 寄 宿 1 月 分 舎





位

松田草笛子 原

、席題の句をひねって、席題の句をひねってした。これよりさきのした。

が盛大に開催されまし 家連盟による新春俳句 いしたことなく、町俳

(楢沢)

}力{

X

ラ

スケッチ

一句高点句

1/3

新年名刺交換会

松田草笛



↑ 1/14かまくら (諏訪井)





↑ 1/6 出 ぞ め 式

春俳

句

大 会

。議員の報酬及び費用弁償 等に関する条例の一部 改正

役場内機構改善について

12月議会定例会で議決された課設覧条例の一部改正によりまして、1月1日よりいままでの3課より5課1室となりましたので、その内容をお知らせ します。

課(室)名	係名	主な事務内容
稳 務	庶 務	人事、給与、職員厚生、交通安全対策、消防防災、選 拳、文書広報、電話交換、簡易郵便局、庁內管理、庁 内車阿管理
10	財政	予算の編成、執行調整、予算の配当、町債、地方交付 税、財政計画立案と実施計画
税 務	税 務	町民税、固定資産税、国保税、土地家屋台偿、軽自動 車税、木材引取税
h- 12	福祉衛生	福祉年金、社会母子老人福祉、保健衛生、防疫、公害 関係、火葬場管理、ゴ:処理、苦情相談
住 民	住 民	戸籍、住民基本台帳、外国人登錄、印鑑登錄、国民健 康保険、国民年金
産業別発	産業開発	產業振興(農、林、畜、水産業)、技術改善、森林組 合育成、商工業振興、農林統計、観光、農林業施設災 指復旧
建 設	建設	道路、河川管理、改良補修、一般建築、公共土木施設 災害復旧、林道、治山、地すべり防止
企画調整(室)	企画調整	重要政策の企画調整、特命事項の調査企画、職員の研 修、過線対策問題、広域市町村、開発公社、統計

これにともない、	人事異動がありま1	したので課長、	局長についてお知らせします

		E)	X			民			名		111			助	X
13		務	90 04	Į.	長	佐	藤	=	三雄	企	画	財	改	課	長
税		紡	20	3	長	安	沢		勇	行	改	課	税	5 係	長
住	- 1	民	20 0.5	ļ.	長	大	楯	Œ	典	濺	会	3 5	務	局	長
産	築	DA	発	課	長	小	熊	鉄	治	行	政	部	長	褶	佐
建		設	å9	Į.	長	野	H	富	三郎	ाह		菜	30 12/	Ŗ.	長
企	画	調	整	室	長	(助	役	滌	務)						
200	슾	事	務	局	長	片	桐	吟	逸	企	įībj	財	政	係	長
農	菜麥	員会	非新	務局	長	大久	保	羧	钕	行	政	課	住工	已係	長

一般会計の科目別予算額

NZ.		_^						PLX.	
1100	1				9月までの予算額	12月の増減	計		款
1.町				税	56, 791	· -	56, 791	1. 職	会
2. 地	方	牌	与	税	2,000	-	2,000	2. 総	務
3. 自	動車取	2 得毛	总变色	金	6,000		6,000	3. 民	生
4,地	方	交	付	税	295, 161	40, 833	835, 994	4. 衛	生
5.分	担金	及び	負担	金	5,747	59	5, 806	5. 労	働
6. 使	用料	及び	手数	料	9, 106	315	9, 421	6. 農	林水
7. 国	庫	支	出	金	27, 353	1,583	28, 936	7. 商	I
8 県	支		出	金	46, 911	1,191	48, 102	8. 土	木
9. 財	産	- 1	収	入	2,035	915	2,950	9. 消	助
10. 繰		入		金	14, 840	△4,509	10,331	10. 教	育
11. 繰		越		金	20,000	9-0	20,000	11. 災	害 復
12, 諸		収		入	9,556	13	9,569	12. 公	債
13. 町				債	63,700	6,800	70,500	13. 子	備
14.交通	安全外	1 年 #	別交	什会	100	-	100	歳	出 .
嵗	λ	4	À	計	559, 300	47, 200	606,500		
						ER ER Arb rate	10 BA / TH 44	HL> 1	- TI 1

款		9月までの予算額	12月の増減	ă†
1.職 会	費	20,061	△1,203	18, 858
2. 総 務	費	89,505	17,583	107.088
3.民 生	費	51,913	2, 987	54, 900
4. 衛 生	歌	78, 439	16, 141	94. 580
5. 労 働	要	4,715	107	4, 822
6. 農林水産業	连 戮	54, 164	1,391	55, 555
7.商 工	費	4, 880	245	5, 125
8. 土 木	費	97, 041	2,866	99, 907
9.消 防	費	9, 224	45	9, 269
10. 教 育	費	101,675	6, 395	108.070
11.災 害 復 旧	費	10,653		10, 653
12.公 債	数	36, 707		36.707
13. 予 備	费	323	643	966
歳 出 合	計	559, 300	47, 200	606, 500

(単位=千円)

国民健康保険(事業勘定)の科目別予算額 (単位=千円)

151.696

501

501

歳								
	- 15	款	1		9月までの予算額	12月の増	咸	#t
1. 総		務		費	5,366		73	5, 439
2.保	険	給	付	費	139, 213		60	139, 273
3,保	険	施	設	費	1,487	15	57	1,644
4. 公		債		費	160		-	160
				1000	A Victoria de la Victoria del Victoria de la Victoria de la Victoria del Victoria de la Victoria del Victoria de la Victoria de la Victoria del Victoria de la Victoria del V			

H		款			9月までの予算額	12月の増減	計
42,329	1. 総	3	务	費	5,366	73	5, 439
3	2.保	険 約	合付	費	139, 213	60	139, 273
88, 410	3,保	险 加	包 設	費	1.487	157	1,644
11	4. 公	fi	řt.	費	160		160
20	5. 諸	支	出	金	3.634	_	3,634
2,050	6. 子	0	簡	費	1,335	211	1.546
17,759	歳	出	슴	計	151, 195	501	151.696
1,114							

上小国診療所特別会計科目別予算額 (単位=千円)

	款		9月までの予算額	12月の増減	81
1. 診	擦 収	入	23, 787	_	23, 787
2. 使	用料手数	料	306	-	306
3. 国	取 支 出	佥	1	·	1
4. 繰	入	金	5.524	2,200	7,724
5. 繰	越	金	1, 101	-	1, 101
6. 諸	収	入	- 11		11
e No.	1 4	44	30, 730	2, 200	32, 930

9月までの予算額

42.329

88,410

20

2.050

17,759

613 151, 195

1.国民健康保険税

2. 使用料及び手数料 3.国庫支出金

5.財 産 収 入

収

歳 入

2. 繰

3. 繰

越

合

金

		鉄		9月までの予算額	12月の増減	計
1. 総		猪	費	17, 187	2,032	19, 219
2. 医		薬	費	9,720	500	10, 220
3. 施	設	整備	費	2, 932	-	2, 932
4. 公		價	毀	216		216
5. 予		備	費	675	△332	343
歳	Ш	合	21	30,730	2, 200	32, 930

法	末	^	*	地	H	張	診	痞	所	会	計	科	目	別	予	筻	額	(単位=手)

				λ	談
計	12月の増減	9月までの予算額		款	
1.132	1	1,131	ス	療 収	1.診
1	_	1	数料	用料手数	2.使
867	-	867	金	支 出	3. 県
400	-	400	金	入	4. 繰
1	-	1	入	収	5. 踏
1	1	_	金	越	6. 繰
2, 402	2	2, 400	81	入合	歲

		款		9月までの予算額	12月の増減	al-
1.総		猪	費	1,383	30	1,413
2 医		菜	毀	953	-	953
3. 予		備	数	64	△28	36
歳	出	合	ñt	2, 400	2	2, 402

簡易水道事業会計科目別予算額

款 9月までの予算額 12月の増減 計 1. 使用料及び手数料 2, 171 2, 171 1,196 219

2

3.150

22

241

		款			9月までの予算額	12月の増	诚	Et
1. 简	易	水	道	数	1,545		241	1,786
2.公		償		322	1,598		-	1.598
3. 予		(M)		費	7		-	7
歲	Ш	合		ž†	3, 150		241	3, 391

小堀	内山蓝	川岸	小川	上柿	小川	小林	氏	おくや	出	中沢	中沢	中村小	今非	あかも	255	12	慶
平作	太郎	ツル	孝一	ナカ	和七	ツル	名	4	克宏	彰	優	小夜子	蛸	やん	え	1	經
85 蔵	63	87	54	85	64	88 歳	年齡		膀 好	俊之	俊之	栄司	賢市	父		12	弔
Ξ	武	Ξ	大	原	大	Œ	部		千公	猿	猿	森	小	部		属	
桶	石	栭	貝		貝	輪	落		台沢	橋	橋	光	米山	落		出分	

心配ごと相談所開催

24

3, 391

5日,25日 9時~3時 所:中央公民舘

相談は無料です



昭和四十

補正され、補正後の一般会 今回の補正第四号の歳入 本年度の予算につきまし 計の総額は六億六百五十万

七年度の予算状況

| 支出金百五十八万三千円な | 四千八十三万三千円、国庫四千八十三万三千円、国庫

(単位=千円)

保育 :所園児 しめ切… 一月二十五日 募集

昭和四十八年度小国町立 集致します。入所を希望さ 集致します。入所を希望さ 書により期日までに役場福 社係まで申し込んでくださ

助	2 意	保育所名	募集人員 年 齢	募 集 対 象 区 城	1、募集人員A ・
こ出ているは	クリスマスおたのしみ会	若草保育所	120名 3~5歳	法坂、桐沢、箕輪、上村、下村、武石、押切、七日町、上栗、千谷沢、原小屋、鷺之島	昭和四十八年度小国町立 昭和四十八年度小国町立 北る保護者は、所定の申請 北る保護者は、所定の申請
りへりこよりこと	しみ会(中央保育所)	やまなみ保育所	80名 3~5歳	山野田、大貝、三埔、苔野島 原、森光、小栗山、諏訪井、 太郎丸、小国沢、上岩田、法 末	書により期日までに役場福 い。
		中央保育所	55名 3~5歳	· 格沢、新町、相野原、二本柳 、上谷内、猿橋、金沢	んでくださ
	月八田育れ三の田大童四一育未を大 続き 三年期者た十支すにの月人し満提に	該は と 三 日 の が と た 一 の が	支給対象節 制度発足当時の年齢側限 であった<五歳未満の児童	日(木)まで、役場住民課福祉係へ。 4、保育料 保育料については、毎年 基準額が改定され、さらに 個人の前年の所得や固定資	昭和四十八年一月二十五 なお、現在入所していて なお、現在入所していて も申請してください。 3、申請別日
			1	(



働きに出ている方へのたよりには 交通事故のないように…と 5

には四月分より一人当り一 には四月分より一人当り一 を行ない、支給要件該当者を行ない、支給要件該当者

2、申請方法 所定の申請用紙を各保育 所定の申請用紙を各保育 所に備えてありますので、 各欄に該当事項をか入して ください。配入方法等は申 ください。配入方法等は申 はない。

一、五〇〇円

季節労働者検診

三年

産税により、それぞれの階層が決定され保育料が決定 します。 へ参考> 現在の保育料は一人一ケ 現在の保育料は一人一ケ 見当り次のとおりです。 ・若草保育所 ・やまなみ保育所 ・やまなみ保育所 ・でまなみ保育所

5、入所の決定 申し込みを受けたものに 申し込みを受けたものに のいて、それぞれ検討の上 的議し、二月中旬までに通 知教します。 なお、三歳児については なお、二歳に

なお、三歳児については なお、三歳児の申し込み者数 が定員未満で、特に保育に 欠けると認められるものの

最高血圧 一五〇二 株満 その他所見なし・異常あり ・異常あり ・

これらの人は、精密検 を受け、注意する人、医 を受け、注意する人、医 がました。 三年間とも四割近い人 に異常所見がありました。

6、通園について 保育所においての送迎は 保育所においての送迎は で、通園は各保護者におい で、通園は各保護者におい で、通園は各保護者におい

つなぎ合う

通算年金制度について

降ですとその請求をした翌 月からの支払いになります ので、該当者は事前請求の できる四十八年一月より三 月三十一日までにしてくだ

支給対象範囲が拡大

児童手当制度

用紙は役場の窓口にあり 社係までお問い合せくださ 社のでは住民課福

条例改正につ お知らせ!

も、請求書の提出が四月以 なお、昭和四十八年四月 一日からの該当者であって 老人医療費支給

老人医療費の支給については、先般チラシなどでお知らせしましたとおり、国の制度が昭和四十八年一月一日より、七〇歳以上の老人にかりますので、町独自の制度を所得制限あり)ことになりますので、町独自の制度を所得制限などで利用できない老人については無料化する人七十歳以上とで利用していただき、また入村日間とするVを人入院の日からとするVを人入院の日からとするVを人及院の日からとするVを人及院の日からとするVを人及院の日からとするVを人及院の日からとするVを人及院の日からとするVを人及院の日からとするVを人及院の日からとするVを人及院の日からとするVを人及院の日からとしていては現行のよりに対している。

現行どおりでありますのでその他の事項については

新 ら

(1

年を迎え 小国町長 牧

て 野

功

らは n小国町のすべて とは考えられず、総てが労せずして nパラ色の夢。 に復ずして nパラ色の夢。 に復ずして nの現実を冷静に見つめ自主的な創意こそ、極めて重要な今日であると重ねて強調いたしたいものであります。

た有てありたい。この者いは新しい年を迎えるたびごとに思うものですが、願い空しく失望のうちに年を終るのが常であり、どなたもを験のおありの事と思います。

◎償却資産の 申告について 一月一日現在で、小国町 内に営利または収益事業の ために使用する 仮 却 資 産 ために使用する 仮 知 資 産

一月一日現在で、給与な 会与、賃金の

器具および傭品など)を所 有する方は慎却資産の申告 書を、一月三十一日(水) までに税務課へ提出してく ださい。

給与を 文法のでいる事業 主の方は、給与支払報告書と、それに、昭和四十七年中に日置者などに支払った資金があれば資金支払報告書もあわせて税務課へ一月三十一日(水)までに告報してください。

(参考)

電話 中里 二三一 電話 中里 二三一 有線 一一七~一四 有線 一〇〇円 (最食は当方で用意) たお、参加人員の都合で 組合せその他は当日決定します。また囲碁については ハンデつき勝負といたします。

三年目、住民の皆さんの関心が高くなったこと と合せて、PRの方法、 たっと受診率が上り ました。しかし、各会場 ました。しかし、各会場 ました。今後さらに受診率が上り たの年後が、残念でし たので、でっと受診率が上り たのがあないと思います。 ばならないと思います。 ばならないと思います。 でした。 明和四十五年でした。 担出制の国民年金が発 東年金が大きいくつかの公的年 東年金や共済組合 東年金や共済組合 東年金や共済組合 東、厚生年金や共済組合 東、厚生年金や共済組合 東、厚生年金や共済組合 東、厚生年金や共済組合 大きりたれる仕組みにはがの公的年 をを渡いくつかの公的年 をを渡いくつかの公的年 をを渡いくでかの公的年 をを変に達していればい。 をの加入期間に、ある をではじいはである。 をである。 をではなりが、 をではなりが、 をではなりが、 をである。 をでる。 をである。 をでる。 をである。 をでる。 をである。 をである。 をである。 をでる。 をである。 をである。 をである。 をでる。 をである。 をでる。 をで

	2007				-7	恰奶间	金見ばらを くばはに保も公済こに年金 人
大正	5年4	月1日	以前に	生社	た人	10年	金見はちをからくばはに保も公所組のように生かが合う。 (くばはに保めるのが組のようながられていなながも年かが、日本のはなりがられているながらなり、 でもがついい 度八とと 制 選 ですがつい 原 の (の (
大正	5年4	月2日	~大正	64	F4月1日	11"	制
11	6	"	"	7	"	12"	® 切 ⑥ ⑤ ④ ③ ② ② □ 度八 と制 たけ 度 で すがつい 度 通 ° ら
"	7	"	"	8	"	13 "	、済農私公地国船厚国なあのわは算 れ 一
"	8	"	"	9	"	14"	す 林立共方家員生民わり法れ「のかった」
"	9	"	"	10	"	15"	て 業校業務務険金金 すにも的象 と
"	10	"	"	11	"	16"	の 団教権員員 。よの年となない して は な で 値 な な の で 値 な な り て が 職員 資本 で 制 の で M の で 制 の で M の の で M の の で M の
"	11	"	"	12	"	17"	、 昌井井 金次度年 ま し
"	12	"	"	13	"	18 "	こ 共済済 制の二金 し
"	13	"	"	14	"	19"	れ応度間年 よ届をはま二るけのせ年場がで す
"	14	"	"	15	"	20"	るじかを金こうけ脱還し重よ出加ん金合多厚町。
"	15	"	昭和	2	"	21 "	に 通 そ 算厚よ 。 るししら入に 、月で入一と年離
昭和	2	"	"	3	"	22"	な算れし生う こたま国しし国日、る人思念れ っ年ぞて年に と場す民たて民を必こでいに、
"	3	"	"	4	"	23 "	て金れ、金し を合。年期く年町ずと二ま加冬 いがの各のて 忘も厚金間だ金役厚はつす入の
"	4	"	"	5	"	24"	「ま支期年加 、 れ同生保がさを場生で以 ず間
							す給間金入国 な様年険あいやに年き上こる職 。さに制期民 い、金料り。め届金まのの人場

	生	年	月		В	受給5
大正	5年4	月1	日以前に	生れた	二人	10年
大正	5年4	月2	日~大正	6年4	月1日	11 "
11	6	"	"	7	"	12"
"	7	"	"	8	"	13 "
"	8	"	"	9	"	14"
11	9	11	"	10	"	15"
"	10	"	"	11	"	16"
11	11	"	"	12	"	17"
"	12	"	"	13	"	18 "
"	13	"	"	14	"	19"
"	14	"	"	15	"	20 "

老齢年金の受給資格期間

大山	55年4	月1日	以前以	生れ	た人	10年
大正	5年4	月2日	~大]	E6年	4月1日	11 "
11	6	"	"	7	"	12"
"	7	"	"	8	"	13 "
"	8	"	"	9	"	14"
"	9	"	"	10	"	15 "
"	10	"	"	11	"	16"
11	11	"	"	12	"	17"
"	12	"	"	13	"	18 "
"	13	"	"	14	"	19"
"	14	"	"	15	"	20 "
"	15	"	昭和	12	"	21 "
昭和	12	"	"	3	"	22"
"	3	"	"	4	"	23 "

新春囲碁将棋大会 受好者による新春の大会を次のとおり開催いたします。初心者・有段者を問わず、みなさんおさそい合せず、みなさんださい。 日時 一月二十日 (土) 十時より

本表はこれら与えられた町政 本私はこれらの諸問題に対 処するに、立きに、 を基本として「小国町長期構想」 を基本として町政担当実質 第一年次の予算に取り組む ちの中に、いくつかのみな ちぬ使命もあります。私はこれ ちぬ使命もあります。私はこれ ちぬ使命もあります。私はこれ ちぬ使命もあります。私はこれ ちぬ使命もあります。私はこれ たとに、自主的民主的な行 要の選営を図り、町民とが を先どりし、処方箋を示し との実営を図るの町政施策実 であります。 私はこれらの町政地策度 であります。 私はこれらの町政地策度 であります。 本はこれらの町政地策度 であります。 本はこれらの町政地策度 を先どりし、処方箋を示し との実営を図るところである とのの実営を図るところである との方法は、重ねものである との方数に、自主的民主的な行 なんだりし、処方箋を示し との方数といっておるところである との方法は、重ねものである との方法は、重ねものである

会開発審議会にいくつかのとところであり、これらの答
中を担からをお諮りしておる
ところであり、これらの答
中を担かる対策をあります。
いま、新しい年を迎える
に当る覚悟であります。
いま、新しい年を迎える
に当る覚悟であります。
いま、新しい年を迎える
に当り自らの姿勢をただし
決選な町民の心の勢をただし
大適な町民の心の動をし、関かな自
然にしたを決意し、農かな自
なにきま方の益々の別事をはら
うこことを決意し、農かな自
なに絶大なるご指導、ご聴騰をも祈りすると共
に絶大なるご指導、ご聴騰
を心からお願い中し上げ、
す。。

新

本かに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。「七〇年代最初の総選挙」を年末あわただしく過率」を年末あわただしく過率」を年末あわただしく過程を領社重点の施策へと転換を領社重点の施策へと転換を優けたことは戦に意識を告めのであります。

一年の計は元旦にあり、 う現実を厳しくみ つめっ っ、高次の長期的視野にたち、共に新年の意義を深め たいものでございます。不 片小国町政を担当し、初め たが自治の仲段を願い、限 地方自治の仲段を願い、限 地方自治の仲段を願い、限 地方自治の仲段を願い、限 地方自治の仲段をのであります。

いまや過疎に悩む地域の必勢を基調とした農業原興策が待たれております。農業尊重現状があります。農業尊重現状があります。農業尊重成ない選が待たれております、共産者のない必要であります。公害のない必要であります。公害のない必要であります。公害のない必要であります。公害のない必要であります。公害のない必要であります。公害のない必要であります。公害のない必要であります。公害のない必要であります。公害のない必要であります。公害のない必要であります。公害のないのとのを受害ない。

「きないのない。」

国内的には高遠なる発想のもと「日本列島改造論」のもと「日本列島改造論」がタイムリーな政策としてうら出され、太平洋沿岸時代から日本海沿岸時代へと満く裏日本格洋是正へと施額く裏日本格洋是正へと施額く裏日本格洋是正へと施数多の問題が残されるとしても時代の進展に即応させつつ町民の英知からなる自生的な創意を結集し、今ことである。

し新たな決意をもち、致力 ながら円滑な議会運営と町 数の伸展を期して、誠心誠 意能命の努力を傾注してま いったつもりであります。 おかげをありまして大妻 なく越年することができま した。これもひとえに町民 各位のご支援とご協力のた まものであると、心から感 謝の意を表する次第であり ます。

行=小 国 町 役 場

ED

昭和四十八年の年頭にあたり小国町議会を代表しまして、つつしんで新年のごあいさつを申し上げます。 町民の皆様、あけましておめでとうございます。 ここに希望にあふれた新春を迎えるにあたり、皆様方のご清福とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。 私は、昨年九月の第九回小国町議会定例会におきまして、はからずも議長の要職につき、その重責を痛感

本元 東京 東京 の振興に伴なって高度の成 の振興に伴なって高度の成 の振興に伴なって高度の成 の値上りをおこし、これが 産業経済や国民への大きな 影響を与え、国際 収 支 の 形別の値 保 を はかるため、積複的 な 財 致金融政策による 景 気 浮

ものと考えられますが、対 外均衡を促進するためには 今後の田中政権の施策に一 段と期待するものでありま す。

の

あ

つ

として国際的にも 主外交へと進み、 主外交へと進み、

上越新幹線の若工、関 上越新幹線の若工、関 と 北陸高速道の敷設、インターチェンデの実現は環境の変化、経済の変動を共 にもたらし、激動する急変にもたらし、激動する急変にもたらし、激動する急変

議会議長

以上中し述べたとおりで地方行財政にも重大な影響地方行財政にも重大な影響地方行財政にも重大な影響はど多くの問題に直面してほど多くの問題に直面してほど多くの問題に直面してはど多くの問題に直面しています。今なお三割自治とであることに、名前だけの地方自治でしかないと思うのであり、ちなみに昭和四十七年度当初の五〇六五万円で対し野税(たばこ消費税、電援対ス税)がら、直接税金として町民の方からの徴収するものは三七三二万円で〇・七名強でしたが、こ〇万円に対し戦力に入っ一一一十七三二万円であります。

運営の面にも依然として しかもこれをまかなう く、しかもこれをまかなう べき財源はなく、その半分 以上を国に依存していると いう状態であります。

いう状態であります。 行政への住民の参加という点でも職会の権限が弱い のに、その反面住民の意思 はきわめて強く、これを無 視することができないので あります。公書に交通に、 道路、学校、上水道、環境

野和四十六年度の一般会 計決算においても同様で、 五億四二〇四万円に対し町 税五二七五万円で一割にも 満たない数字であり、直接 視は三九六五万円でありま して、当町にあっては三 自治どころか一割自治と自 さねばならないような財政 であり、国、県に依存する ところが大きいもので、窓 法に保障する地方自治に、 はるかに遠いものが感ぜら れます。 福祉の増進など、今後幾多の重要問題が山積しています。とくに教育行政、土木行政及びかねてからの監察に対する対象に表示をはかることが投々に課せられた黄策を講じなければなりません。これらの解決をはかることが投々に課せられた黄策をあり、関係機関と相まって最少の経費であります。

「昭和四十八年こそは、当町のより一層罹進の年として、町政全般にわたり内容を接にわたり内容を接にわたり内容を表示に最大の努力を傾注する所存でありますから、なにとぞ倍旧のご指導とごべんたつをお願い申し上げます。

年頭にあたり、いささか 年頭にあたり、いささか

自信のある身体を!

をころが原生年金から 国民年金に移った場合、 国民年金がムダになるの ではないかと心配される す。。 ではないかと心配される ではないかとの配される